



校 友

Vol.37 平成 24 年 10 月 15 日

松商学園高等学校校友会

松本市県 3 - 6 - 1

TEL 0263 - 34 - 2724 FAX 0263 - 34 - 0107



維持年会費の納入にご協力をお願いします

校友のみなさま、日頃『維持年会費』の納入につきましては、深いご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、学校法人松商学園は本年で創立114年となり、松商学園高等学校校友会も大正10年に発足し、会則第1条にある様に会員相互の親睦と団結を図るとともに、母校経営の母体としての使命を念頭に学園の発展に寄与の理念のもと、校友会の各々の立場の中で活動が引き継がれて参りました。その経過の中でも、昨今ではあらゆる世界の様々な分野においても全く想像できない程に全てが、激動・激変の状況下であります。

校友会も母校経営の母体としての使命の部分において年毎に使命感の温度差が顕著になってまいりました。ここで、校友会員一同の結束をより強固に再生するには、皆様方から、校友会仲間の皆さんへお声掛け等のさらなるご支援が重要となり、ご協力とご指導をお願いする次第でございます。

主 な 内 容

- ◆ ごあいさつ..... 2頁
- ◆ 学校の紹介..... 3頁
- ◆ 清水が丘短信..... 5頁
- ◆ 23年度卒業生進路状況 6頁
- ◆ 入試情報..... 8頁
- ◆ 歴史栄光室..... 9頁

- ◆ 23年度終身会費納入者名簿 10頁
- ◆ 23年度維持年会費納入者名簿 12頁
- ◆ 24年 総会報告 13頁
- ◆ 卒業30周年記念式典を終えて 15頁
- ◆ 校友ゴルフ大会..... 16頁



ごあいさつ

松商学園高等学校校友会

会長 花村 薫 平

本年は特に暑い夏となり校友の皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃は校友会の事業にご協力を頂いておりますこと厚く御礼申し上げます。二〇周年事業も皆様方の力の結集によって、学校の施設も充実が図られてまいりました。校友会として総会の議を経て記念事業に協力できました事報告申し上げます。本年度の入学生も関係されました皆様のご努力によって松本秀峰中等教育学校・高校・松本大学の短大四大共に定員を割る事もなく新入生を迎えられました事は誠に喜ばしい事であります。高校へは第四通学区以外の地域からも県内外より七〇名ほどの新入生がいました。文武両面での選択する時代に入つて来ております。今回の校友会では、硬式野球部が創部百周年を迎えます。今その記念すべき事業のためプロジェクトチームが編成されて進められております。この事業も大きな節目の事業として校友皆様方のご協力をお願い致します。

部では個人戦のダブルスで男子が優勝女子が準優勝と輝かしい成績を収め、柔道部では女子団体戦で全国第三位、女子個人戦では「津金恵」選手が見事全国優勝を果たすなど好成績でありました。出場選手全員に校友会より特活奨励金を例年の通り差し上げました。校友会のゴルフ大会では、三二名の参加で穂高カントリークラブで盛大に開催されました。二〇代から九〇代まで幅広い参加があり参加者も年々増加の傾向にあります。さて、今年も昨年に引き続き交流事業に参加させて頂きました。東日本大震災と原発事故により被災と緊急避難準備区域にあり、二箇所サテライト校を設置し分教教育を続けていました福島県立原町高校との交流が行なわれました。被災によって苦難を抱えている生徒も多く皆で助け合つて行かなければなりません。今年は放送部など文科系の生徒が多く校長先生を始め二三名の皆さんと学校を中心に松本城や乗鞍岳方面へ出掛け松本の観光を楽しんで帰られました。以上現況報告を含めご挨拶とし、これから校友会事業にご協力をお願い申し上げます。



松商学園高等学校 硬式野球部創部一〇〇周年 記念の募金のお願い

松商学園高等学校硬式野球部

創部一〇〇周年記念寄付募金活動委員会

委員長（松商野球部後援会 会長）北山 嶢

日頃、校友の皆様には、松商学園高等学校硬式野球部に絶大なご支援、ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

大正二年に創部した、硬式野球部は来年で二〇〇年を迎えます。

当部の素晴らしい歴史と伝統は、地元は勿論全国的に知られるところであり、今更申し上げるまでもありません。

創部二〇〇年を目前にして、昨年三月に、二〇〇周年プロジェクトを発足させました。

プロジェクトの事業計画は、野球部百年史の発行、記念講演会、招待試合等を計画しておりますが、何といつてもその主なる事業計画は、教育施設の拡充であります。

全校生徒が心身を鍛え、良き社会人を造る、総合トレーニングセンターの建設であります。

このことにつきましては、今年の校友会総会、京浜校友会総会の席上で、ご協力、ご支援をお願いして参ります。



したが、ここで尚更に全校友の皆様にご協力、ご支援を賜りたく、お願い申し上げます。校友会、会報の発送に伴い、お願い書を同封させて頂きました。厳しい社会環境下の、この時期に何とも心苦しいお願いでございますが、何卒ご理解を賜り、ご協力をお願い申し上げます。校友皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



学校の紹介

今年は626名の新生を迎え、生徒数は9月現在3学年合計1552名(男子721名、女子831名)、クラス数41クラス、高校では県下最大規模を誇る学校であります。今年度より土曜日授業の実施(特進)、その他のコースは土曜隔週(年間20週)授業を行い学力の向上を目指しています。この3月の卒業生の進学については、国公立合格37名、難関私大など多数合格者を出しており着実に実績を上げています。

また運動部も全国高校総体(インターハイ)で昨年に続き柔道部女子個人優勝、テニス部ダブルス男子優勝、テコンドーでも全国優勝を遂げるなど輝かしい成果を残しています。文化部では、放送部がNHK杯全国放送コンテストで全国優勝を惜しくも逃しましたが、全国高校総合文化祭では最高賞である優秀賞を獲得しました。

本校は2008年韓国釜慶(プギョン)高校と交流連携をしています。今年2月にはサッカー部が韓国へ訪問し3月には本校生徒がホームステイをし交流を深めました。また8月には韓国釜慶高校よりサッカー部、ホームステイの生徒、教諭ら計50名が来校し交流を行いました。釜慶高校サッカー部は全国大会で2度優勝している同国内屈指の強豪チームです。親善試合は残念ながら負けましたが、

高校選手権に向けて良い経験になりました。これからの交流予定は来年5月初旬に韓国を訪問、11月には松商学園高校硬式野球部創部100周年に合わせて韓国側の来校予定です。

第65回松商祭が8月25日、27日に開催されました。テーマは「Happy S」。今年は来客数が5000人と昨年(3000人)を大きく上回り、天候にもめぐまれ盛況な松商祭でした。

昨年度に続き9月15日、17日、福島県立原町高校の生徒19名と教職員4名を招き学校交流をしました。原町高校は東日本大震災の被害を受けた福島第二原発から半径20〜30キロ圏内にあり「緊急時避難準備区域」に指定された学校です。訪れた生徒は松商生と一緒に部活をしたり、意見交換をしたり親睦を深めました。



運動部

本年も多くの運動部が、県高校総体(5月中旬〜6月上旬)、北信越総体(6月中旬)、全国総体(7月下旬〜8月上旬)に出場し活躍しました。全国総体(インターハイ)には昨年(56名)を上回る8団体14種目73名の参加でした。県高校総体では、新体操部が団体戦において全国大会常連校の伊那西高校を破り初出場を勝ちとった。インターハイではテニス部が男女共ダブルスで決勝に進み、男子、諱・西脇(共に3年)組が、長野県テニス界初めての全国優勝、女子、牧野(3年)野崎(2年)組が準優勝、団体は男女とも全国ベスト8の成果を収めました。柔道部女子63kg級で津金恵さん(2年)が昨年の決勝で敗れた宮崎県の選手を倒し、念願の全国初優勝を勝ち取りました。また女



文化部

子団体戦では3位と健闘し松商学園柔道部の存在を全国に示しました。空手道部は女子団体組手5位、個人組手で井田渚さん(3年)が5位と全国の上位に名前を連ねました。また全国空手道選手権大会男子形で準優勝、女子形で準優勝となりました。テコンドーでは金原貴将君(3年)が全日本ジュニアテコンドー選手権高校男子ウェルター級で2連覇を果たしました。

第36回全国高校総合文化祭が富山県で開催され、番組制作部門ビデオメッセージ部門で優秀賞を受賞しました。総文祭での優秀賞は全国優勝にあたります。この番組は71歳のシンガーソングライターの人生を追った映像ドキュメンタリーであり、





松商祭

「ひたむきに演奏に打ち込む姿で、好きな音楽への思いを強調した作品」です。また第59回NHK杯全国高校放送コンテストにおいてラジオドキュメント部門で優良賞(第4位)、テレビドキュメント部門で第5位、テレビドラマ部門で、制作奨励賞(第6位)を受賞しました。

第65回松商祭が校友会のみなさまからのご支援を多くいただき、8月25日(土)～27日(月)に開催されました。今年度は「Happiness」をテーマとし、みなさんの幸福や喜びを、松商祭を通して見つけてほしいとの思いで、学芸部の発表・展示、各種イベント、模擬店を行いました。一般公開では、約5000人のお客さんを迎え、活気溢れる2日間となりました。各クラスクラブによる模擬店では、生徒が仕入れから販売まで行い、多くのクラスで収益をあげることが

できました。校内では、書道部・写真部・美術部・茶道部・琴部・棋道部・科学研究部・コンピュータ部・漫画アニメーション同好会・軽音楽同好会の発表・展示を行い、茶道や棋道では実際に体験をすることもできました。書道部も体育館でお客さんたちを前に書道パフォーマンスを行い、練習の成果を見ていただくことができました。視聴覚室では、今年度の全国大会で上位入賞した放送部が上映会を行い、プロ顔負けの映像を楽しんでいただきました。また、有志の発表ではダンス発表とファッションショーが行われました。さらに何年かぶりに演劇の発表も行われました。1年生を中心としたメンバーで、照明等の器具が不足しているなか立派な発表となりました。『学芸部』の発表の場としても位置づけされている松商祭で、今年度は充実した発表・展示となり、多くの方に喜んでいただけたと思っています。クラブ発表以外にも、一般公開期間中に清水ヶ丘会館で商業科による実習販売が行われました。実習販売も3年目を迎え、多くのお客様に来店していただくことができました。校友会のみなさまには広告や物品仕入れなどでご協力いただき、ありがとうございます。

さて、今回の松商祭では、昨年度に引き続き「東日本大震災復興支援」の活動を行いました。一般のお客さんへ募金をお願いし、多くの方からご協力をいただくことができました。また、生徒会のグッズ売り上げの一部を義援金にあて

こととなっております。集まった義援金は松本市を通じて被災地へ送る予定でございます。私たちの力は微々たるものかもしれませんが、被災地の困っている方々が少しでも喜んでいただければ幸いと考えております。ご協力ありがとうございます。



松商祭の開催にあたり、生徒会を中心に夏休み前から準備をしてきました。校友会、地域の方々には本当にお世話になりました。3日間という短い期間の文化祭でしたが、生徒たちの力で企画・運営をし、結果として5000人のお客さんに来校していただけたことは生徒たちにとつて大きな財産となりました。楽しいことだけが幸せでなく、仲間と苦楽を共にし、ひとつのことを成し遂げることも『幸せ』なことと気づけたように思えます。3年生にとつて最後の松商祭でしたが、下級生になにか残せてあげられた文化祭でした。来年度の松商祭も校友や地域の方々からのご協力をいただき、伝統ある『松商祭』を開催していきたいと考えております。今後ともよろしくお願

堀地スチール工業(株) 堀 地 忠 明 (64 回卒) 0263-25-3358	(株)大月酒店 大 月 吉 史 (57 回卒) 0263-28-8500	田中スチール工業(株) 田 中 嘉 隆 (58 回卒) 0263-25-9610	(株)丸谷工業 丸 谷 義 一 (60 回卒) 0263-25-4008
元 禄 吉田屋 内 山 美 奈 子 (88 回卒) 0263-62-2907	三 平 堂 商店 坪 田 洋 治 (61 回卒) 0263-64-3011	(有)サンユー製作所 百 瀬 俊 雄 (54 回卒) 0266-28-6563	大沢会計事務所 大 沢 利 充 (67 回卒) 0263-34-1445
(有)会田醤油醸造店 滝 沢 善 長 (65 回卒) 0263-64-2024	(株)青木工務所 鳥 羽 弘 光 (短 8 期卒) 0263-32-4723	お お つ き 大 月 晃 雄 (64 回卒) 0263-62-3000	(株)草田組 草 田 耕 一 郎 (65 回卒) 0263-64-2168



清水が丘短信

全国大会出場者に 特活奨励金を贈呈

松商学園高等学校校友会の事業の一環として、母校のクラブ活動で各種全国大会に出場するクラブに対し花村会長より特活奨励金を贈呈しました。

①平成24年3月15日に「平成23年度全国選抜大会」に出場する部活。

贈呈先…テニス部・柔道部・卓球部・空手道部・ソフトテニス部・弓道部・ウエイトリフティング部の7クラブ選手63名と引率教諭16名

②平成24年7月19日に「平成24年度全国高校総合体育大会」に出場する部



活。

贈呈先…テニス部・柔道部・卓球部・空手道部・ソフトテニス部・ウエイトリフティング部・新体操部・陸上部・バドミントン部・なぎなたの10クラブ選手72名と引率教諭21名

③平成24年7月19日に「全国高校総合文化祭」に出場する部活

贈呈先…放送部・写真部の2クラブ部員28名と引率教諭5名

④平成24年7月19日に「全日本高校女子大会」に出場する部活

贈呈先…ウエイトリフティング部女子選手1名と引率教諭1名

⑤平成24年7月19日に「全国ダンスドリル選手権大会」に出場する部活

贈呈先…トワリングバトンの選手18名と引率教諭2名



第六十八回生「還暦同窓会」で 旧交を温める

旧交を温める

私達第六十八回生の「還暦同窓会」

を昨年十月二十二日に天神・梅風閣に於いて、ご来賓に金井校長・花村校友会長・田口理事・田内第六十九回学年代表幹事並びに当時のクラス担任三氏のご出席を頂き、総勢百余名の参加者を以って開催しました。集合場所を母校松商学園正門とし、今も変わらず誇らしく

楚々と建つ校門とそれに続く歴史栄光室、新しい校舎を半世紀ぶりに旧友こそつての見学会を行いました。何せ久しぶりの事なので参加した誰もから緊張した面持ちが伺え、校内に漂う空気をじっくり味わいながら、まさに走馬灯のように巡る各々の想い出にしばし浸りました。母校を約二時間見学してから会場まで歩いての道すがら甘酸っぱい青春時代の想い出話の花盛りでした。

祝う会に先立ち、これまでの全ての感謝と今後の健康、そして母校松商学園の更なる発展を祈念し、深志祭館の宮司様からご祈禱を頂戴して、本会を開催しました。先ずは、既に故人となられた六名の恩師と同窓生の物故

者へのご冥福を祈り黙禱を捧げました。老年の門出となる節目の還暦の会を機会に今後も友好を密にしていこうと誓い合つて和やかな内に閉会しました。

翌日は、特に遠方から駆け付けてくれた仲間の為にと、幹事の一人がバスを仕立てみんなで二日ゆっくり安曇野巡りをしました。折しもNHKの朝の連ドラ「おひさま」放映と重なり、またたいてい思い出になりました。



松商学園高等学校

平成23年度卒業生進路状況

新たな取組みをさらに深化

国公立大学合格者増

選抜進学コースは特別進学コースとほぼ同一カリキュラム（授業形態）0時限から7時限までなどを工夫しての授業で卒業生も2年目になり、国立・難関私立大学への合格校が増えていく。国公立大学への合格数は、22年度は29校であったが、23年度は37校へと大幅増となった。この要因は両コースとともにハイレベルな授業・大手予備校講師による特別講義等による相乗効果があったといえる。また、他のコースでも果敢にチャレンジし、合格を獲得している。

コース別対策

今年度のコース対策には、PTAより学力向上の名目で予算を計上していただき、商業・特進・文理・選抜・総合の各学科のコースプロジェクトリーダー長を中心にして、コースの特徴をさらに発展させる具体的な計画を企画実践している。

施設の充実

中学校舎建設に伴い、進路指導室の拡張・生徒進路相談室が新設された。進路情報コーナー・情報機器等を増設。生徒が利用しやすい進路相談室（相談コー

ナー、PCの設置、オンデマンドによるサテライト学習の使用）へと進化した。

平成23年度卒業生進路状況

進学について

卒業生477名のうち進学者は391名で、大学243名（51%）、短大82名（17%）、専修・専門学校66名（14%）、浪人その他60名（13%）であった。

大学では、国公立大学へ37名（現役25名、浪人12名）合格した。その内信州大学へは9名合格。私立大学への合格者総数は397名（現役289名）は、一般入試、指定校推薦入試、AO入試、一般推薦入試、部活動推薦入試など多様な入試制度を積極的に活用して合格している。また私立大学580校のうち難関校といわれている21大学への合格者も22年度79名から23年度94名へとますます増加している。（早稲田2・慶応1・上智1・東京理科大学1・明治6・立教4・中央1・法政5・関西4・関西学院1・立命館6・日本20・東洋9・駒沢10・専修7・京都産業1・近畿9・甲南2・龍谷4）

短大への進学者は82名で、進学分野は、医療・幼児教育系への進学をはじめ多岐にわたっている。

専門学校への進学者は、66名で、4割が資格が取得できる医療系の専門学校であった。

就職について

1年次から職業適性検査、職業講話、キャリア教育、会社見学などを実施し、職業意識の高揚と自己理解の深化に努め、厳しい就職雇用状況の中、将来社会で必要とされると共に、生きがいを感じて人生を送ることができていることを願って指導している。

昨年の就職・公務員希望者19名（全体の5%）は、早めに準備・試験対策・会社訪問などを行い、採用内定を獲得した。

主な就職先

公務員・長野県警察・海上自衛隊・松本市役所・4名、一般企業は（中部電力・松本ハイランド農協キッセイ薬品）19名、計23名

進路先から見た各学科・コースの特徴

【商業科】

資格取得と部活動や学習に頑張り、推薦入試制度を利用するケースが多い。

進学66名、就職12名（78名卒業進路実現率98%）

四年制大学27名（35%）

短大21名（27%）

専修・専門17名（22%）

就職12名（15%）

合格者数

私立大学27名、

短大（国公立）21名、

専修・専門17名

主な4年制大学

明治大・東京理科大学・専修大（2）・松本大（9）・獨協大・神奈川大・日本女子体育大・桜美林大・山梨学院大（2）・東京国際大・城西国際大・諏訪東京理科大学・大谷大・大阪経済法科大学……etc

【普通科特進コース】

センター入試試験、一般入試を受験し国公立大学、難関私立大学を目指す。

進学42名、浪人・その他31名

（73名卒業進路実現率58%）

四年制大学37名（59%）

短大3名（5%）

専修・専門2名（5%）

浪人31名（31%）

合格者数

国公立大学18名

私立大学56名

短大（国公立）4名

専修・専門3名

主な4年制大学

信州大（5）・横浜国立大・金沢大・富山大（2）・山梨大・高崎経済大（4）・都留文科大・新潟県立大・明治大・中央大・法政大・立教大・立命館大・日本大（4）・東洋大（3）・駒澤大・専修大（2）・龍谷大（4）・明治学院大・帝京大・同志社女子大（2）・日本福祉大（3）・神奈川大……etc

【普通科選抜コース】

学業と部活動の両立をはかり推薦入試、センター入試試験、一般入試を受験し国公立大学、難関私立大学を目指す。

進学34名、浪人・その他4名

（38名卒業進路実現率90%）



四年制大学28名(73%)、
短大3名(8%)、
専修・専門3名(8%)、
浪人・その他4名(11%)
《合格者数》

国公立大学4名
私立大学52名

短大(国公立)3名
修・専門3名

《主な4年制大学》

静岡大(3)・富山大・鳥取大・鹿児島大・静岡文化芸術大・芝浦工業大・関西学院大・関西大(4)・立命館大・京都産業大・甲南大(2)・近畿大(3)・京都女子大・日本福祉大・順天堂大・群馬医療福祉大・国際医療福祉大・神奈川大(2)・中京大(2)
……etc

【普通科文理進学コース】

学業と部活動を両立させ、難関大学への進学を目指す。

進学113名、就職3名、
浪人・その他24名

(142名卒業進路実現率83%)

四年制大学79名(56%)、
短大17名(12%)、
専修・専門17名(12%)、
就職3名(2%)、
浪人・その他24名(18%)

《合格者数》

国公立大学1名
私立大学96名

短大(国公立)12名
専修・専門14名

《主な4年制大学》

長野県看護大・明治大(3)・専修大(2)・法政大(2)・日本大(3)・東洋大(2)・岩手医

科大・駒澤大・東京経済大・立命館大・神奈川大(2)・日本福祉大(3)・拓殖大(3)・大東文化(3)・昭和薬科大・文教大(3)・東京工科大・松本大(9)・京都ノートルダム大
……etc

【普通科総合進学コース】

学業と部活動の両立をはかり推薦入試、一般入試で進路実現を目指す。

進学136名、就職8名

(146名卒業進路実現率98%)

四年制大学71名(56%)、
短大(12%)、専修・専門(12%)、
就職(2%)、浪人・その他(18%)

《合格者数》

国公立大学2名
私立大学70名

短大(国公立)39名
専修・専門27名

《主な4年制大学》

信州大・鹿屋体育大・明治大・法政大・立命館大・日本大(3)・駒澤大(2)・東海大(2)・松本大(11)・順天堂大・玉川大・国士館大・杏林大・東京家政学院大・日本体育大・神奈川大(2)・跡見学園女子大(2)・二松学舎大・佐久大・大東文化大(2)・拓殖大(2)・南山大・帝京大・東海学園大・武蔵大・日本福祉大・日本女子体育大・流通経済大
……etc

進路実現のための取組

日頃の学習での学力向上と、部活動での人間力向上を前提に、目的を明確にした目標設定をし、能力を引き出す工夫と努力をしている。また、より良い進路実現を目指して、進路指導部、学年、担任、PTA(保護者対象の「進路

セミナー」(3年)、「進路講演」(全体12月)、「進路講演」(2年、11月)実施が協力して各種取り組みをしている。

(1)自己理解を深め、意識を高めるための取り組み

職業講話 6月(2学年全員) 9月(1学年全員)

進学講演会 2月(2学年全員) 12月(1学年全員)

特進講演会 4、5、10、11月(特進全学年)

進学研究会(難関大進学、国立(信大など)

就職対策講座(7、8月)

キャリア教育の推進

2年次(夏季休業・春季休業中)に希望企業でジュニア・インターンシップ(職業観育成)

3年次(就職希望者)は企業見学を実施

(2)進路研究・ガイダンスの推進

コース別進路ガイダンス(1・2年) 就職・進学ガイダンス(3年生全員に對して5月実施)

学校別(大学など約80校参加)個別進学(7月)ガイダンス

2年生徒と、その保護者に対して3月学ぶ分野別ガイダンス

大学フェアに参加(特進・文理コース)

進学準備ガイダンス(2年) 明治大学キャンパスツアー(7月)

(3)情報提供の充実

進路相談室インターネット20台、図書館にも進路用パソコン2台を設置しインターネットを自由に活用してもらう。

進路指導室の前の廊下を利用して各種資料を提供・配布

(4)個別相談の充実

面接対策講座(8月)

(5)センター試験対策講座・国立大個別試験対策講座・難関私立大対策特別講座

(6)小論文対策講座・表現サポート(1・2年 年5回)

(7)就職・公務員対策講座(3年就職希望者に対して6、7、8月実施)

(8)補習授業・サテライト講座開講(通年・長期休業中実施)

(9)学年統一模試・小論文試験の充実(3年・7月、1・2年・11月、2月実施)

特別進学コースへの対応

「持てる力を可能な限り伸ばす」を目標にして

・オリエンテーション合宿(1年4月)

・補習授業、朝テストの実施

・サテライト講座(代ゼミ、河合塾、駿台の3社を導入)の開講

・メンタルトレーニングの活用

・学習量確保のための8限目授業の設定

・勉強合宿(夏季休業中)

・土曜日授業(毎週)

・模擬試験を年10回実施
・センター試験会場にてプレ模試を受験(12月実施)
・国公立2次試験対策として小論文講座を長期休業中に実施
・国公立2次試験対策(個別大学二次対策講座 1、2月)

入試情報

総募集人数 450名	商業科(男女)80名	2年次より、●会計システムコース・●ITメディアコースを選択
	普通科(男女)370名	●総合進学コース……120名 ●選抜進学コース……70名 ●文理進学コース……120名 ●特別進学コース……60名

◇詳細については生徒募集要項をご覧ください。 ※印については在籍する中学校の先生にご相談下さい。

特 奨 生 入 試	[試験]12月22日(土)	区分	対象となる学科・コース	出願条件	面接試験	学力検査
	商業科特奨生	専願	商	18以上(5科)	個人	なし
	普通科特奨生	専願	総 文 選 特	20以上(5科)	個人	なし
	運動部特奨生	専願	商 総 文 選	※	個人	なし

推 薦 入 試	[試験]1月23日(水)	区分	対象となる学科・コース	出願条件	面接試験	学力検査
	学 業 推 薦	専願	商 総 文 選 特	※	集団	なし
	ク ラ ブ 推 薦	専願	商 総 文 選	※	集団	なし
	課外・特技推薦	専願	商 総 文 選	※	集団	なし

併 願 入 試	[試験]1月24日(木)	区分	対象となる学科・コース	出願条件	面接試験	学力検査
		専願/併願	総 文 選 特	※	集団	なし

一 般 入 試	[試験]2月26日(火)	区分	対象となる学科・コース	出願条件	面接試験	学力検査
		専願/併願	商 総 文 選 特	なし	なし	国・数・英 (記述)

帰 国 生 入 試	[試験]12月22日(土) 1月23日(水) 2月26日(火)	区分	対象となる学科・コース	出願条件	面接試験	学力検査
		専願	商 総 文 選 特	※	個人	なし

中国料理 百老亭 出 井 健 二 (66 回卒) 出 井 健 太 郎 (95 回卒) 0263-32-4220	(有)本郷商店 本 郷 剛 史 (80 回卒) 0263-64-2202	浅 輪 食 糧 店 浅 輪 周 平 (54 回卒) 0263-25-1349	(有)ミヤサカ印刷 宮 坂 勲 (短 15 期卒) 0263-47-3017
---	---	---	---



自主独立の校旗に護られ 大正2年校舎新築落成記念絵葉書寄贈

8月29日、松本市在住の三澤松次氏から、大正2年11月に発行された、「松本商業学校新築落成記念絵葉書」3枚などが寄贈された。これらは、上土町から埋橋（現在の松本秀峰中等教育学校の場所）へ移転新築した99年前の貴重なものである。一枚目の正門、正面玄関は北を向き、左手に校舎。手前には畑が広がっている。写真を取り囲むように右には紺地に金の「自主独立」という文字と中央に緑と金でマキユリーの校章の入った校旗。周りには彩りも鮮やかな月桂樹の葉オリーブの葉。上に松の葉と松ぼっくりがあり、「MATSUMOTO 新築落成記念 商業」とあつて、いかにも上等な仕上がりである。二枚目は、西から東を見た校舎の風景。三枚目は、化学実験室と簿記室の授業風景。

◆野球部黄金時代の名捕手の思い出の品々寄贈 三二企画展「百瀬和夫の足跡」開催◆

平成24年4月18日、百瀬和夫氏（29回）の御子息国夫氏（58回）が来校し、昭和3年8月22日、野球部が第14回全国中等学校優勝野球大会で優勝した際、捕手として活躍した父和夫氏の遺品当時出場選手に授与された優勝メダルや参加章、写真アルバム、野球関係の資料、書籍など多数）について寄贈を受けた。いずれの品々も野球部百

年プロジェクトで進行中の「松商野球部百年史」編纂の貴重な資料ともなるものばかりである。また、歴史栄光室の充実のためにということと寄付を頂き、学園から感謝状が贈られた。昨



◆身長はなんと3メートル40センチも 今井五介翁像寸法計測◆

松商の経営の恩人今井五介翁の巨大な石膏像は旧講堂に鎮座しているが、この夏、ハシバテクノスの百瀬亘氏（91回）の協力により、足場をかけて計測したところ、その寸法がはじめて正確に分かった。台座40センチ、身長は3メートル40センチ、顔は縦45センチ、横35センチ、耳が左右に5センチ。

かつて、松本城の広場の一角に、建設用地も準備され、東京の彫刻家で帝国美術院会員、帝展審査員もつとめた著名な建畠大夢（たてはたいむ）によって製作が進んでいたが、戦局が悪化する中で金属事情が厳

しくなり、建立断念に迫り込まれ、石膏像だけがゆかりの松本商業学校に保存されることになったものである。現在では4月18日の開校記念日に関係者がお参りすることになっている。



◆木造校舎・旧講堂・柔剣道場 国の登録有形文化財に 「この建造物は貴重な国民的財産です」 標板と登録証交付◆

平成23年10月28日、松商学園高等学校本校舎、旧講堂、柔剣道場（旧武道場）が、文化財保護法の規定により、国の登録有形文化財に指定され、文部科学大臣から登録証と標板の交付を受けた。

これら3件の建物は、昭和11年11月3日、今井五介や片倉兼太郎をはじめとする片倉財閥関係者の総力をあげて完成し、当時「東洋一の校舎」といわれたものである。本館は和洋折衷の大型木造建築物として、講堂は昭和初期の鉄筋コンクリート造りとして、柔剣道場は半円アーチ窓など特徴的な建築物として、それぞれ戦前の貴重な建築物として高く評価されたものである。

登録の標板には、「この建造物は貴重な国民的財産です」とあり、正面玄関入り口右わきの石柱に赤御影石の額縁にはめ込まれて設置され、登録証は事務室前廊下に掲げられている。

その後、指定登録番号に誤りがあるとのことで標板、登録書とも再交付された。登録証はかけ替えられたが、玄関の標板は最初に交付された（第20・0378・0380）で、歴史栄光室に再交付の標板（第20・0420・0422）が飾られることになった。

◆創部百年の年に企画展「信州の野球史」開催 長野県歴史館へ全国優勝旗など貸し出し◆

長野県の野球の歴史を振り返ると、大正から昭和にかけて、松商などを中心に目覚ましい活躍の時代があり、「野球王国信州」と呼ばれた時代があった。

野球部の創部100年という記念すべき来年の6月下旬から8月中旬にかけて、県民を熱狂させた戦前の野球の歴史を中心にたどる夏季企画展「信州野球史」が、森の將軍塚古墳や杏の里で知られる千曲市森にある長野県立歴史館開催されることになり、歴史栄光室所蔵の昭和3年の全国中等学校優勝野球大会優勝旗レプリカなど多数の野球関係資料が貸し出されることになった。

担当の西山克己先生は、今までに何度か来校されて歴史栄光室を見学し、「松商には歴史を物語る品々がよく残されている」と感心



されていた。学校関係の団体見学等多数ある施設での県レベルの展示公開は、より多くの人々に松商と松商の野球の歴史を知ってもらう機会となるだろう。

◆歴史栄光室見学者オープン

2周年で約5600人◆

一昨年9月にオープンして以来、この9月までに、卒業生、在校生などの学校関係者をはじめとし、体験入学の中学生や一般のかた、来校者など、見学者数は約5600人になった。昨年11月には58回生、今年5月には66回生、57回生が同級会の際に学校と歴史栄光室をコースに組み込み、恩師も交えて各コーナーの前に立ち止まって懐かしく思い出話を花を咲かせながら見学した。8月の松商祭には一般公開の2日間、約4700人の来場があり、9月には福島県原町高校が来校して見学し、展示品の数々に驚き感心の声をあげていた。

◆寄贈品受け入れ◆

◎平成23年9月以降 敬称略

- 23.9.20 高校野球記録 内山喜雄
- 23.10.13 夏の選手権大会・北信越大会スクラップ 宮坂真一
- 23.11.28 昭和34年春・夏・国体参加メダルとリボン 北條 眞
- 23.11.11 大正15年卒業アルバム 小松忠章
- 23.12.14 英文タイプライター・学帽 白澤徳子
- 23.12.15 明治期テニス部記念写真 卒業写真 小林 修
- 23.12.20 明治期五つ玉算盤 丸山新吉

◆歴史栄光室の見学は◆

事前に電話でお問い合わせください。

お問い合わせ先 松商学園高等学校
電話：0263-1331-1210

◆『松商野球部百年史』編集◆

古い資料はありませんか◆

硬式野球部は大正2年に創部され、平成25年には100周年を迎える。昨年4月「松商学園高等学校硬式野球部100年推進プロジェクト」が発足し、「野球部百年史編集委員会」（宮坂真二委員長）がスタートした。『野球部百年史』は、A4判箱入り600ページを予定し、現在資料収集と執筆を進めている。卒業生・OB関係者で当時の写真などの資料を持っている方はぜひご連絡をお願いします。大切なものは撮影や複写をしてお返しします。

【連絡先】

松商学園高等学校内 野球部百年史編集室
電話：0263-1331-1210
FAX：0263-1331-1213
メール：rekishi@matsusho-h.ed.jp
担当 窪田・高山（幸）

- 24.4.18 百瀬和夫写真アルバム・優勝メダル資料 百瀬国夫
- 24.6.6 水野栄治郎野球関係写真 水野秀一
- 24.6.20 野球関係新聞 昭和・平成 梶 英雄
- 24.7.15 中村恒利野球関係写真・新聞資料 中村新太郎
- 24.8.29 大正2年新築校舎落成記念絵葉書 三澤松次

終身会費納入状況

平成23年度終身会費納入者名簿

齋藤志緒	小林亮太	木村優斗	木内亜紀	神田麻紀	上田瑞紀	岡村実紀	太田昌樹	太田真吾	伊藤美沙	青柳健太	青嶋亮太	青木勇樹	青木勇樹	駿河果歩	萩村光	川上明彦	曾山千穂	85周年	深澤正明	74周年	斎川慶一	68周年	大友伸二	67周年	宮澤秀夫	伊東帝子	66周年	村上幸雄	加藤博志	64周年	小林秀司	62周年	石田信也	61周年	栗田雅弘	60周年	太田勇	58周年	横山由行	百瀬兵二	54周年	柳澤無双	42周年	
上條彩香	春日裕子	柏原大由	大川絹由	井上綾	五十川咲	赤羽一樹	青沼柳	吉江あず	山崎元太	森田雅大	丸山健太	深澤未由	早川厚	中島美輔	中澤隼	富岡輝	鳥塚玲	手塚美咲	田中沙季	竹内彩香	高山嶋有	塩原隆志	折井和哉	小倉花乃	大久保由香	遠藤沙里	牛島美里	伊藤彩	松田友	増田央	穂村奈	深尾耕	平林佑	平林佑	中谷美	田多井香	丸山貴	細川翼	中田奈	滝沢真	滝沢真	高主帆	白澤和	
永井絵理	中村拓哉	中村力也	竹内士	高橋亮	櫻井緒	黒岩健	久我愛	金澤準	神谷健	大野大	伊藤直	山崎義	古田崇	藤田美	波多奈	長尾希	中島貴	常田純	田辺矢	関崎誠	島崎千	塩原達	小園彩	小園彩	植原卓	伊藤吹	森田華	松田樹	増田央	穂村奈	穂村奈	深尾耕	平林佑	平林佑	中谷美	田多井香	丸山貴	細川翼	中田奈	滝沢真	滝沢真	高主帆	白澤和	
加藤諒人	岡田奈	若林雅	吉池夏	村岡夏	宮下紗	宮田依	松川依	長谷依	武居伊	滝澤伊	白澤彩	小野雄	柄原雄	金崎真	柿崎真	大内紗	今井介	新井一	足立瑞	吉村将	湯本久	矢本帆	本川央	丸山央	松田央	堀井央	原井央	筒井央	椎名央	小松央	小松央	熊谷央	奥原央	尾崎央	諱崎央	伊藤央	吉沢央	百瀬央	宮田央	丸山央	古田央	藤森央	原田央	根石央
谷口雄祐	清水雄祐	櫻井雄祐	黒岩雄祐	小幡雄祐	大田雄祐	太田雄祐	太田雄祐	宇留雄祐	横内雄祐	山田雄祐	山田雄祐	山田雄祐	丸山雄祐	丸山雄祐	丸山雄祐	前川雄祐	二木雄祐	平林雄祐	野村雄祐	高杉雄祐	篠田雄祐	齋藤雄祐	小松雄祐	小松雄祐	久保雄祐	奥原雄祐	岩間雄祐	伊藤雄祐	吉田雄祐	吉田雄祐	宮田雄祐	三澤雄祐	御子雄祐	降旗雄祐	降旗雄祐	林和雄祐	名和雄祐	須藤雄祐	佐藤雄祐	小松雄祐	小松雄祐	腰原雄祐		



校友

坪田遼香	中川優梨	中野彩佳	長橋彩絵	新村麻衣子	濱千佳	林遼太郎	丸山崇彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋和彦	宮嶋
------	------	------	------	-------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	----

鳥居プロパン

鳥居とし子

(69 回卒) 0263-46-1872

本年度の終身会費の納入状況は下記の通りです。各号に納入者のお名前を掲載しております。
本号には、平成23年4月1日から平成24年3月31日までの納入者名を掲載しました。
ご協力に感謝しますと共に、厚くお礼申し上げます。
尚、終身会費未納の方には、納入のご協力を頂きます様、お勧めをお願い致します。

平成 23 年度納入額

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

区 分	金 額
納 入 額	5,542,000 円
返 金 額	△ 261,000 円
合 計	5,281,000 円

※ ゆうちょ銀行での振込みの場合

口座番号 00590-4-12388

口座名義 松商学園高等学校校友会
終身会費1口2万円以上

※ お問い合わせは

松商学園高等学校校友会事務局

TEL 0263-34-2724

FAX 0263-34-0107

■平成 19 年 9 月 30 日までの納入者は 32 号に
 ■平成 20 年 3 月 31 日までの納入者は 33 号に
 ■平成 21 年 3 月 31 日までの納入者は 34 号に
 ■平成 22 年 3 月 31 日までの納入者は 35 号に
 ■平成 23 年 3 月 31 日までの納入者は 36 号に
 それぞれ掲載されております。

平成23年度維持年会費納入者名簿																																																											
同卒業 氏名																																																											
50 50 50 49 48 47 47 47 47 47 46 45 45 45 43B43A43A43A43A43A43A42 42 42 41 41 40 40 40 40 40 39 39 39 39 39 39 39 38 37 37 37 36 35 35 33																																																											
中岡赤松宅湯古黒上上竹山中江太山柳丸中白酒小横等岩降沢洞平須沢太望三丸武瀧曾小飯太伊東赤吉田浜 野田穂澤間本畑岩條條内岸島本田下瀬山野木井松山々力淵旗澤林山谷日月原山口川澤根山沼田藤羽澤多津律 靖角竹利信淳淑博英清辰保文秀芳昭隆富宜静朋次満高修宗定正惟市清一正隆幸一善津雄壽治 学男美夫男一水人明寿雄温好男夫廣雄彦昭二司登次誉守子男廣見吉市章明平喜宏美郎次四雄登介治寿雄壽治																																																											
55 55 55 54 54 54 54 54 54 54 54 54 54 54 54 53 53 53 53 53 53 52 52 52 52 52 52 52 51 51 51 51 51 51 51 51 51 51 51 51 51 51 51 51 51 50 50 50																																																											
佐小横矢百松増花中鳥土小腰浅青宮藤西西西久清井山三洞中中須北石山柳百百南丸松田竹窪上上今有浅浅山松前 原沢澤山彦瀬澤田村村羽屋林原野原木森村原保井ノ崎代澤澤村田藤山川崎沢瀬瀬原山山中内田條原井水輪原岸岡 千隆由照俊廣章薫文真頼春良太章美英貞孝孝之忠友澤岩修裕久弘丰富謙大正良徳次長亀一久堅 鶴男夫晃行弘雄幸隆平聡男永雄郎長一夫武雄一郎助教靖孝雄二己洋嶋雄之夫康吉吉徳平豊美男雄貴利郎旭博作徹郎 田英一																																																											
60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 59 59 59 59 58 58 58 58 58 58 58 58 57 57 57 57 57 57 57 57 57 57 57 57 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 55 55 55																																																											
南水丸丸降小小栗笠石深清金石百林中長鈴塩齋小大百宮丸古降中竹高酒齐小小上上今足望松林高高鈴鈴斎小腰大平田立 山口山谷旗松松田原川沢沢井瀬野崎木原藤岩友瀬澤山田旗村内山井藤林島條嶋溝助月田山山木とし清充富昌一運多 静友義洋英登雅佑逸晃一清紀博富井繁政靖幸憲秀祐国英靖忠眞紀喜恒国金一し清充富昌一運多井康延 巖雄昭一明雄行弘之紘雄之透郎史六夫八勝明治豊人幸直明利行三敏子寛枝利修享規男生徳正一久栄子志司陽子男敏秀公 公秀																																																											
65 64 64 64 64 64 64 64 64 64 64 64 64 64 64 64 64 63 63 63 63 63 63 63 62 62 62 62 62 62 62 62 61 61 61 61 61 61 61 61 61 61 61 60 60 60																																																											
北横山村本二原中鶴田田高高高草鎌岡岩青宮樋二仲高曾関上小村峯松藤塚武高新白計上吉横峯丸坪田杉澤笠岡市赤青本 澤山田上間木田沢田口中橋橋田倉間田佐沼脇口村林橋根條口山山山原田井塚保沢良條澤内村山田中田田原部川羽木山 潤一元恵芳知成美昭敏忠慈多康一幸秀弘次孝英倫真章正宏哲義孝勝征薫正長一増寿昇博洋常宗和孝尚充俊 郎秀昇健子郎治美光子久夫子臣郎雄一伊晟郎澄子彦澄剛隆稔彦章郎夫治美人代勝亮男穂男一文治泰威雄子勲子夫久之 之																																																											
73 73 73 73 73 72 72 72 72 72 71 71 71 70 69 69 69 68 68 68 68 67 67 67 67 67 67 67 66 66 66 66 66 66 66 66 66 66 66 65 65 65 65 65 65																																																											
村林西小小河村白岩青青藤深小杉藤鳥駒赤松藤津片石松松中竹砂久河川大大村宮松松橋中出津塩小小岩大山柳百茂中須 田澤松林原山と澤佐木木原澤岩原原居とし津羽澤森田岡田崎崎平内原保田正秀敏伸利秀松澤場村井滝原林澤岡飼崎沢瀬原美代 健佳右忠謙玲文昭文子学巳一志子信子郎子敏勉英子夫文二一文俊子二充博夫章子徳明二二男夫一次文文男隆司子子 治子興章治人子弘子規博子学巳一志子信子郎子敏勉英子夫文二一文俊子二充博夫章子徳明二二男夫一次文文男隆司子子																																																											
110 110 108 108 108 107 107 105 104 104 104 104 103 103 102 101 101 101 101 100 100 96 91 91 91 90 90 88 87 82 81 81 80 80 79 79 79 78 77 76 76 75 75 75 75 74 74 74 73 73																																																											
小遠横平壇宮行小横山平黒壇岩江矢小栗岡鈴太松丸竹古田戸小小梅清花赤宮須石吉金横宮吉横小小阿茂池相山山 松藤愛山山林田下徳山山本林田田田佐口ケ山奈田木田澤山内田中棟門井井村廣下田田原山下沢山山山部木澤澤本 夏莉愛隼信翔陽端勇雄あ彩づ剛雄尚裕竜津雄一三晃一弘み誠佳豊章司之枝政保子幸子紀子彦子志子嗣子司子彦寛 希香実雄幸斗介姫太哉み里之飛志冶一美雄																																																											

尚、ご納入の際には、維持年会費は一口2,000円（一口以上でお願いします）

今回の会報（37号）と一緒にゆうちょ銀行の払込取扱票を同封しましたのでご活用下さい。

学籍番号（会員番号）、卒業回数をご記入ください。（学籍番号は封筒の宛名欄の下にある数字です）

***納入は平成25年3月末日までにお問い合わせ致します。**



平成24年 総会

平成24年5月12日（土）午後5時より松本東急インにおいて、平成24年松商学園高等学校校友会総会及び懇親会が多数のご来賓と校友のご出席を頂き盛大に開催されました。平成23年度決算・平成24年度予算・平成24年度事業計画につき承認されました。次のとおりご報告致します。

平成23年度決算報告書・平成24年度予算書

決算：自 平成23年4月1日・至 平成24年3月31日
 予算：自 平成24年4月1日・至 平成25年3月31日

【一般会計】

収入 (単位:円)		
科 目	H23年度決算額	H24年度予算額
維持年会費	1,038,500	1,100,000
総会会費	430,000	450,000
学年会費	150,000	210,000
預金利息	84,070	84,000
雑収入	302,000	300,000
終身会計繰入	9,235,010	3,000,000
前年度繰越金	1,677,580	1,468,163
合 計	12,917,160	6,612,163

支出 (単位:円)

科 目	H23年度決算額	H24年度予算額
記念品費	145,920	150,000
総会費	640,175	700,000
会議費	230,794	200,000
委員会活動費	26,900	40,000
特活奨励費	808,000	900,000
事務局費	137,792	150,000
事務委託費	960,000	960,000
振込手数料	35,510	40,000
会報発行費	2,488,493	2,500,000
印刷費	-	30,000
通信費	134,268	135,000
慶弔費	205,000	200,000
組織活動費	600,000	300,000
リース料	30,345	40,000
旅費	5,800	10,000
連合会負担金	-	50,000
特別寄付金	5,000,000	-
予備費	-	207,163
次年度繰越金	1,468,163	-
合 計	12,917,160	6,612,163

【終身会計】

収入 (単位:円)		
科 目	H23年度決算額	H24年度予算額
終身会費	5,182,000	12,000,000
預金利息	1,530	10,000
終身会費	360,000	300,000
前年度繰越金	32,017,545	28,031,225
合 計	37,561,075	40,341,225

支出 (単位:円)

科 目	H23年度決算額	H24年度予算額
一般会計へ	9,235,010	3,000,000
終身会費返金	261,000	250,000
支払手数料	29,850	50,000
振込手数料	3,990	5,000
次年度繰越金	28,031,225	37,036,225
合 計	37,561,075	40,341,225

**(株)ギガ・ジャパン**益山 定雄
(53 回卒) 0263-86-5033**大和産業(株)**青柳 保
(53 回卒) 03-3970-6623**アルプス造園**宮瀬 寛
(53 回卒) 0263-72-3440**久保田容器工業(株)**久保田孝次郎
(53 回卒) 0263-26-1232**(株)佐藤ボデー製作所**佐藤 古寿
(65 回卒) 0263-25-4832**千代田土地住宅(株)**土橋伊久雄
(53 回卒) 0263-32-0906**履物問屋 清井商店**清井 宗之助
(53 回卒) 0263-32-0721**(株)ヒラバヤシ**

0263-32-8700

平成 24 年度 事業計画

1. 総務企画委員会

- (1) 本会の経理及び財務に関すること
- (2) 学年会費・終身会費・維持年会費に関すること
- (3) 松商学園高等学校との密接な連携に関すること
- (4) 松商学園高等学校キャリアサポートセンターへの協力
- (5) ホームページの管理

2. 組織活動委員会

- (1) 学年代表幹事・支部組織に関すること
- (2) 校友会のあり方懇談会の開催（直近の卒業生）
- (3) スポーツ系・文科系・同好会OB会との連携
- (4) 学年代表幹事は、各委員会に所属する

3. 事業活動委員会

- (1) 定期総会の開催
- (2) 会報の発行（平成24年10月下旬予定）
- (3) ゴルフ大会の開催（平成24年9月1日・穂高CC）
- (4) 硬式野球部100年推進プロジェクトへの協力
- (5) 松商祭（商業科）への協力



平成 25 年 松商学園高等学校校友会総会のご案内

期 日：平成 25 年 5 月 11 日（土） 総 会：午後 5 時 30 分
 会 場：松本東急イン 懇親会：午後 7 時
 （松本市深志1-3-21 電話 0263-35-3333）
 当番幹事：本郷支部と卒業回数下一桁0回（60・70・80・90）の
 皆様、ご協力をお願い致します。

(株)ホテル モンターニ 濱 野 秀 次 (64 回卒) 0263-35-6480	(有)エス・エヌ 服 部 公 威 (70 回卒) 0263-35-1195	(株)ホテルおもと 山 本 浩 司 (70 回卒) 0263-46-2385	(株)成進社印刷 腰 原 春 郎 (54 回卒) 0263-32-2301
(株)田内工務店 田 内 光 一 (69 回卒) 0263-58-2275	(有)クボタテック 久 保 田 正 文 (67 回卒) 0263-32-7418	(有)小山はかり工場 小 山 恵 嗣 (75 回卒) 0263-25-3740	(有)中平工業 中 平 寿 文 (67 回卒) 0263-47-0006
(有)丸信商会 丸 山 栄 三 (53 回卒) 0263-32-4568	(有)メガネ専門店フキ 落 沢 正 紀 (59 回卒) 0263-35-3289	(株)エイコー 田 中 義 方 (53 回卒) 0263-47-2226	(有)マル直ムラマツ水産 村 松 渡 (61 回卒) 0263-32-3710



第80回生

卒業30周年記念式典を終えて

私たち第八十回生（昭和五十六年三月卒業は卒業三十周年を迎え、平成二十四年二月二十八日（土）に先輩方より引き継がれてきた記念事業である『記念式典』をザ・ブライトガーデンにて開催致しました。

御来賓に藤原二理事長・花村薫平校友会長・小宮山淳学園長・金井貞徳校長・百瀬清・京浜校友会副幹事長、又在学当時の恩師・犬飼功先生・白木健介先生・笠原哲雄先生・徳武藤吉先生（奥様御同伴）・堀内毅先生、又第七十九回生を代表して奥原美樹様・宮下秀保様、第八十二回生を代表して鰐川正夫様・伊藤昌志様に臨席を賜り、私達第八十回生141名の同窓生出席のもと、卒業三十周年記念式典が盛大に挙行されました。

式典準備は開催前年の10月より始め、諸先輩方・各役員の協力のもと短期間での計画実行となりましたが『さすが松商学園の関係者は協力的で実行力があるな！』と実感致しました。

そしてメインの式典では、校旗入場・校歌斉唱・物故者黙祷と式が流れ、『奨学基金の贈呈』となりました。こちらは在校生の皆様との更なる教育向上に積極的に役立てて頂こうと、私たち八十回生に募り総額100万円を萩原和昭実行委員長より金井貞徳校長へお渡し致しました。そして施設整備・教育機器類の充実の為、『110周年拡充募金』として30万円を中澤和浩副実行委員長より藤原二理事長へ贈呈致しました。その後先輩方より引継いだ団結の証である『伝

統の鍵』を八十二回生代表の鰐川正夫様に熱い思いを込めて託し無事式典を終了致しました。

懇親会では各クラスの担任の先生方より当時・現在の学園の様子のお話を頂戴いたしました。当時流行していた曲が流れる中、我々の卒業当時のスライド写真が映し出され、30年前の無邪気な笑顔が溢れ、懐かしい会話が花が咲き、当時の応援団も張りのある応援をして大変有意義なひと時であった様に感じました。そして次回の同窓会是我々が還暦を迎える頃に開催できればと思っております。

最後に『奨学基金』にご協力頂きました皆様、また式典開催運営にご協力頂いた関係各位の方々へ心よりお礼申し上げます。そして松商学園の精神である『自主・独立』を今後も胸に秘め、其々の道を切り拓いて参りましょう。皆様の益々のご健勝・ご健康を心より願っております。



81回卒業生 全員集合!

私達も今年（平成24年）にて、卒業30年を迎えました。

皆様夫々の分野でご活躍のことと拝察いたします。先輩方より代々受け継いでいる伝統行事の「卒業30周年記念式典」を、下記のとおり行ないますので81回卒業生の皆様のご参加をお願い致します。

①記念式典

期日：平成25年2月3日（日）
会場：松本東急イン（Tel 0263-36-0109）
松本市深志一丁目3番21号

②事業（後輩へ奨学基金贈呈）

目標：1,000,000円

③詳細については、クラス幹事会にて検討中です。

【お問い合わせ先】81回式典実行委員長 鰐川正夫（6組）
携帯電話090-4158-8211

平成23年度校友会支部・学年会活動報告

◆支部会◆

・平成23年6月18日 京浜校友会総会 アルカディア市ヶ谷
・平成23年6月25日 南信会総会 仙岳
・平成23年12月3日 穂高支部総会 穂高神社「参集殿」

◆学年会◆

・平成23年10月22日 68回生同窓会 深志神社「梅風閣」
・平成23年10月22日 43回A生同窓会 みやま荘
・平成23年11月29日 58回同窓会
・平成24年1月28日 80回卒業30周年記念式典 ブライトガーデン

第18回

松商学園高等学校

校友会ゴルフ大会

平成24年9月1日(土)、第18回校友会ゴルフ大会が、昨年に引き続き穂高カントリークラブに於いて開催されました。

昨年より20名多い131名の参加をいただき、午後になり雨がぱらついたものの天候も大崩せず、あちらこちらでナイスショットの音が聞こえる中、盛大に開催する事ができました。

競技終了後、表彰式及び懇親会が行われ、参加者の交流を深めることができました。表彰式では個人戦においては58回卒の塩原明さんが昨年に続いて個人優勝。団体戦(学年対抗)は69回卒業の皆さんが優勝をはたし、「校友会会長杯」と「松商学園理事長杯」が花村校友会長よりそれぞれに授与されました。

また、協賛金・協賛品をいただいた穂高支部、清水製麺所さん、福岡進さん(65回)、丸山正芳さん(72回)・どうもありがとうございました。

今回は第39回卒の大先輩から103回卒の皆様まで幅の広いご参加を頂き非常に内容の濃い大会になりましたことに感謝しております。次回の大会も更に充実した大会に成るように関係者同努力をして参りますので、今年以上の皆様のご参加をお待ちしております。

成績は左記の通りです

個人戦		団体戦(学年対抗)		団体戦(支部対抗)	
順位	氏名	順位	氏名	順位	氏名
優勝	塩原 明	優勝	宮下 浩一郎	優勝	京浜校友会
準優勝	金澤 悦司	準優勝	大澤 克己	準優勝	穂高会
第3位	田中 嘉隆	第3位	清沢 正敏	第3位	69回 卒
第4位	本田 富保	第4位	杉山 清文	第4位	67回 卒
第5位	田中 嘉隆	第5位	古田 元秀	第5位	69回 卒
第6位	田中 嘉隆	第6位	関 俊夫	第6位	67回 卒
第7位	田中 嘉隆	第7位	宇留 賀弘	第7位	67回 卒
第8位	杉山 清文	第8位	丸山 宏	第8位	66回 卒
第9位	新田 協秀	第9位		第9位	
第10位	古田 元秀	第10位		第10位	
B・B賞	関 俊夫	B・B賞		B・B賞	
B・M賞	宇留 賀弘	B・M賞		B・M賞	
B・G賞	丸山 宏	B・G賞		B・G賞	



平成24年度校友会役員

役職名	氏名	卒回	役職名	氏名	卒回
会長	花村 薫 平	54	常任幹事	河原 秀 俊	67
副会長	久保田 孝次郎	53	〃	西澤 寿 夫	68
〃	中 平 寿 文	67	〃	山 本 文 彦	73
〃	鳥 居 と し 子	69	〃	佐 々 木 一 郎	74
幹事長	横 山 正 志	75	〃	相 澤 尚 子	74
副幹事長	竹 内 久 二	67	〃	小 澤 さ ゆ り	75
〃	田 内 光 一	69	〃	赤 羽 勝 巳	82
〃	宮 下 敏 彦	76	〃	井 口 利 恵	83
事務局長	児 玉 妙 子	68	〃	荒 井 達 雄	86
副事務局長	北 澤 潤 一 郎	65	〃	木 澤 勝 誠	90
〃	小 山 直 子	75	監 事	立 沢 延 公	55
〃	青 島 金 吾	高校事務長	〃	小 川 博 通	57
常任幹事	中 原 信 一	59	〃	太 田 昌 孝	61
〃	中 沢 成 美	64			

—— あとがき ——

復興まま成らぬ1年半、日本経済未だ先見え、尖閣・竹島領土問題何もかも解決できず、苛立つ今日この頃。

さて、皆様方にご協力を頂き、年1回の会報を今回も全校友の皆様方にお届けさせていただきました。松商学園校友会ホームページにも掲載いたします。そちらもご覧ください。

また、来年度は硬式野球部100周年に当たり、ご協力をお願い致します。

少子化の流れの中、私学の厳しさを痛感するこの頃です。母校松商学園の末永い発展の為にご尽力をお願いします。

秋風も、寒さも増えています。皆様方、ご健勝でありますようにご祈念申し上げます。
事業活動委員会役員一同

おくやみ

草間 鼎 儀 (92歳) 元学園監事

平成二十三年八月二十九日逝去されました

横川千陰 儀 (89歳) 名誉理事・元学園常務理事

平成二十三年十月十二日逝去されました

五十川 清 儀 (86歳) 元非常勤講師

平成二十四年二月十二日逝去されました

深沢太郎 儀 (91歳) 前理事長

平成二十四年五月二十六日逝去されました

謹んでお悔やみ申し上げます。

インターネットで
松商学園高等学校校友会にアクセスできます！

●ホームページ
●メールアドレス

http://www.matsu.ac.jp/matsusho_kkouyukai@matsusho-h.ed.jp